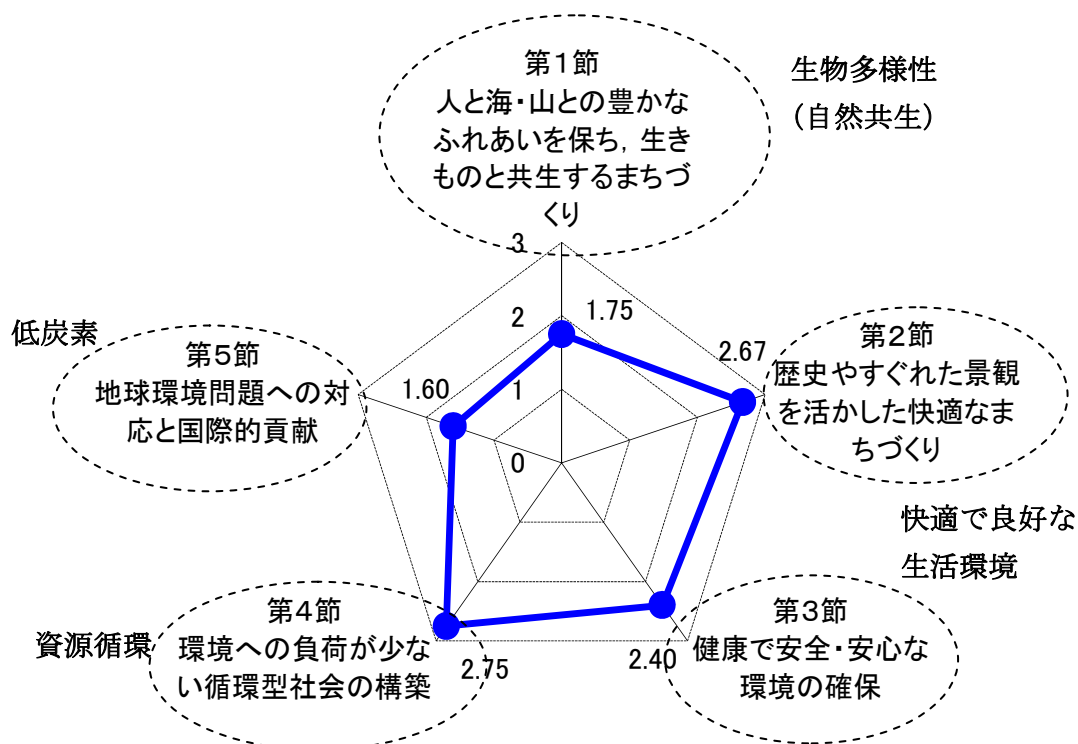


## 環境基本計画(第三次)骨子(案)作成までの経緯

## 1 現行計画の評価

- 「第2節 歴史やすぐれた景観を活かした快適なまちづくり」及び「第4節 環境への負荷が少ない循環型社会の構築」については、一定程度、目標が達成されており、取組みの継続が望まれる。
- 一方で、「第1節 人と海・山との豊かなふれあいを保ち、生きものと共生するまちづくり」、「第3節 健康で安全・安心な環境の確保」及び「第5節 地球環境問題への対応と国際的貢献」については、取組みの強化が必要である。
- 指標の一部については、計測の確実性や適時性確保の観点からの見直しを行う必要がある。



## 2 環境や社会状況の変化

- 東日本大震災前後での市民・事業者の環境行動が変化している。
- PM2.5問題を契機とした環境汚染に伴う健康影響への意識が高まっている。
- 国の第四次環境基本計画、福岡市新世代環境都市ビジョン、生物多様性ふくおか戦略、新循環のまち・ふくおか基本計画等が策定されている。

### 3 ふくおか環境市民カフェでの市民意見

- ・ 素案作成前の段階における市民意見の反映を行うとともに、計画策定後の市民・事業者等の自主的な行動を促進するため、「福岡市環境行動賞」受賞者・団体等、市内で積極的に環境活動を行っている市民に参加を呼びかけ、以下のとおりワールドカフェを開催した。

○日 時：平成25年10月26日(土) 14:00～17:00

○場 所：TKP 天神シティセンター 8階 M-1 会議室（福岡市中央区天神 2-14-8）

○案 内 数：639名（個人及び団体の代表者）

○参加者数：37名

○実施結果

ファシリテーターの進行のもと、テーマごとのグループに分かれ、ワールドカフェ方式による活発な意見交換が行われた。さまざまなご意見の中から、各グループにおける主なご意見を要約して以下に示す。

グループ	主なご意見（今後重点的に取り組むべきテーマなど）の要約
省エネルギー	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 家庭，事業者，行政まるごと省エネ・創エネ</li></ul>
地球温暖化	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 産学官，地域の連携強化</li><li>・ 地球への影響</li></ul>
生物多様性	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 生物多様性について考え，行動する</li><li>・ 地域住民，ボランティア，研究者などから学ぶ</li></ul>
河川環境	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 環境や安全に配慮した河川管理</li><li>・ 環境教育の強化</li></ul>
ごみ問題	<ul style="list-style-type: none"><li>・ さまざまな年代，地域による行動</li><li>・ 行政の役割</li><li>・ 市民にとって身近でわかりやすい計画に</li><li>・ ごみの減量</li><li>・ 生ごみ対策</li><li>・ 資源ごみの回収</li><li>・ 意識・マナーの向上</li></ul>
経済活動と環境	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 経済発展と環境保全</li><li>・ 個人，企業・団体の環境意識の改善</li></ul>
高齢化と教育	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 子どもの環境意識向上と高齢者の活用</li><li>・ 学校，学生の表彰</li><li>・ 市職員，教員による率先行動</li></ul>



「ふくおか環境市民カフェ」の様子